

1. YK1.幼児教育の意義【無藤隆講師】

問題	「幼児期の終わりまでに育ててほしい姿」の内の「健康な心と体」について、それが運動や健康の習慣やスキルを教えること以上の意味があることのポイントを、要領・指針の文言に即して説明しなさい。
回答例	「健康な心と身体」について要領・指針では、「幼稚園(保育所等)の生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。」とあります。まず、末尾に「つくり出すようになる」とある通り、「つくり出す」ことに向けて成長していく様子を表しています。さらに、充実感、自分のやりたいこと、見通しを持って、自ら、などあるように、幼児が主体的に自ら進んで健康な安全な生活をつくろうとする姿勢を育てるのであり、しかもそこには充実感を伴い、何のためにするかという見通しが成り立つことが必要なのです。単にやり方を教えたり、訓練すれば良いということではないのです。

2. YK2.幼児の発達に応じた保育内容1【川辺尚子講師】

問題	子どもたちの日々の遊びが、「主体的・対話的で深い学び」につながっていくために、どのような工夫をしたと考えたか。
回答例	(一つの遊びに対して、答えややり方を決めずに)子どもが自ら考え工夫したり挑戦したり、試行錯誤できるようにする。保育者が導くというより、子どもが友達同士で協力し合ったり、ほかの子どもから影響を受けたりするなど、様々な人から影響を受けられるような工夫をする。など

3. YK3.幼児の発達に応じた保育内容2【川辺尚子講師】

問題	幼児の発達をふまえた保育について本講座で学んだことを述べてください。
回答例	子どもの発達は、「できる・できない」といった見方ではなく、環境との相互作用によって資質能力が育まれていくプロセスとしてとらえる。発達を促していくためには、子どもの興味関心に合わせた環境を工夫していく必要がある。「10の姿」で捉え直すことによって、保育を多角的に見直し、環境を考えていくことができる。など

4. YK4.幼児の発達に応じた保育内容3【利根川彰博講師】

問題	あなたが持っていた「幼児イメージ」(子どもってこんな存在というイメージ)を、ぴったりくる言葉で表現してください。また、研修を通して見方が変化したということがあれば、その点も述べてください。
回答例	「子どもはもともと好奇心を持っていて、自分の身の回りの世界を知ろうとして働きかけている存在」など。 (ワークで出された答えが書かれているとよいと思います。自分の持っているイメージを言葉にしてみる、という体験が重要なので、それができていればよいのですが)

5. YK5.幼児教育の環境【宮里暁美講師】

問題	幼児の感性を豊かに育む環境となるために、どのような点に配慮することが望めますか。
回答例	以下の点が含まれているのが望ましい。 ①自然環境を取り込み、様々な感じる体験を保証する。 ②子どもたちが直接触れることができる ③幼児が感じている姿を見逃さない ④多様な体験ができる多様な環境

6. YK6.幼児教育の指導計画、記録及び評価【北野幸子講師】

問題	保育実践の独自性を小学校教育や家庭教育と比較し、説明しましょう。それを踏まえて、保育の計画と実践、評価に記録を活かす方法を具体的にあげて説明しましょう。
回答例	<ul style="list-style-type: none"> ・園では、小学校以降の教科教育と異なり、知識と技術の習得についての具体的な内容が教科書で規定されているわけではない。子どもの姿をベースとして、子どもとの相互作用の中で、狙いや内容等計画をたてる。よって、保育の計画については、実践にあたっては予定どおりでなくてもよく、子どもの実態に応じて、臨機応変に子どもとの相互作用の中で環境を再構成したり実践の展開を変えていく。 ・家庭と異なり、集団保育の醍醐味が保育実践にはある。集団保育において多様性への寛容性が育まれ、多様で豊かな経験が保障され多方面への知性の扉が開かれる。

7. YK7.小学校との接続【松崎洋子講師】

問題	保幼小連携・接続の取り組みは、子ども同士の交流、保育者と教師等の情報交換、接続期のカリキュラム等があります。①子ども同士の交流をすすめるためのポイントを挙げ、それぞれについて説明してください。②子ども同士の交流を進めるために必要なことを述べてください。
回答例	<p>①「互恵性」「継続性」「名付け合う関係」「物語性」の4つ全て、またはいくつか挙げられていること、その内容が書かれていることが望ましい。</p> <p>②保育者と教師間で活動の「ねらい」や「内容」等が共有される、交流がイベントでなく継続的に実施される、園の年間計画等に位置付けられている、のすべて、またはいずれかが含まれていることが望ましい。</p>

8. YK8.計画・実践・振り返りの実際【川辺尚子講師】

問題	保育の中で行う「計画・実践・振り返り」について、押さえておくべきポイントだと思うことを述べてください。
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの興味関心を捉える。子どもをよく観ること。 ・記録は、子どもの姿を明日の保育につなげるために書く。 ・計画は、子どもの関心を基に、発達をふまえた上で、環境(モノ・こと・人)をどのように活用するかを考えて立てる。